

研究課題名	生活期リハビリテーションにおける介入手法の標準コードの実態調査
研究期間	実施許可日 ～ 2028 年 12 月 31 日
研究の対象	実施許可日～2026 年 3 月 31 日の間に、医療・介護保険のリハビリテーション事業所 50 施設に入所している要介護者
研究の目的・方法	研究目的：介護保険の生活期リハビリテーションの介入手法に関する標準コードとその定義を開発し、その標準コードの具体的な評価と介入手法の手引きを作成することで、介護現場での介入の実態を解明します。 研究の方法：医療・介護保険のリハビリテーション事業所を対象にアンケート郵送調査を実施し、標準コードを用いた評価を実施し、生活期リハビリテーションの実態について明らかにします。
研究に用いる試料・情報の種類	情報：年代、性別、施設種別、要介護度、主疾患名、併存症・合併症、リハビリテーション手法の標準コード（使用した評価法、実際の実施内容、訓練時間）、BI、認知症自立度、MMSE、HDS-R、リハビリテーションの区分、リハビリテーション開始日、提供したリハビリテーション職、リハビリテーション実施場所、データ入力時間、データ入力にかかわる手間の度合い。
利用または提供を開始する予定日	本学における実施許可日
個人情報の保護	情報は研究に使用する前に、個人を識別できる記述を削除し代わりに研究用の番号を付け、どなたのものか分からないよう加工した上で使用します。個人と連結させるための対応表は、各機関の研究責任者が保管・管理します。
外部への試料・情報の提供	グーグルフォームで作成したアンケートは Excel 形式で出力し、データの集約は広島大学で実施します。その後、集約データを共同研究機関内で共有します。
研究組織	研究代表者 広島大学病院リハビリテーション科 教授 三上幸夫 共同研究機関 京都府立大学リハビリテーション医学教室 教授 三上靖夫 岩手医科大学医学部リハビリテーション医学講座 教授 西村行秀 三重大学医学部附属病院リハビリテーション部 教授 百崎 良 東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学講座 教授 安保雅博 聖マリアンナ医科大学リハビリテーション医学講座 主任教授 佐々木信幸

	日本大学医学部リハビリテーション医学分野 教授 新見 昌央 藤田医科大学医学部リハビリテーション医学Ⅰ講座 教授 大 高洋平 既存試料・情報の提供機関 共同研究機関関連の医療・介護保険のリハビリテーション事業所
その他	
研究への利用を辞 退する場合の連絡 先・お問合せ先	研究に情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象といたしませんので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。 また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。 日本大学医学部附属板橋病院リハビリテーション科 新見昌央 〒173-8610 東京都板橋区大谷口上町 30-1 電話番号：03-03972-8111